

## 令和3年度実施事業について

### ● 1. 亀岡市支えあいまちづくり協働支援金（資料 1-1）

申請事業：11事業

採択事業：9事業（詳細別紙一覧のとおり）

- ・今年度採択事業の成果報告は、令和4年4月下旬～5月上旬にギャラリーかめおかロビーギャラリーと市役所1階エントランスホールで各団体から提出された貼り出し用の紙面を掲出します。
- ・各事業結果に対する評価・アドバイスは報告書提出後に委員の皆様や審査員からいただき、団体へ通知します。
- ・事業見学の報告について。

### ● 2. まちづくりに関するワークショップの開催（資料 1-2）

開催概要・・・令和3年11月27日

参加者数・アンケート（別紙）

### ● 3. 市民活動に関する事業所アンケート（資料 1-3）

無作為抽出した市内の事業所500者を対象に実施

令和4年1月28日発送、令和4年2月18日締切

令和3年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金決定事業概要一覧

NO	申請団体名	代表者名	申請事業名	実施対象	実施期間	設定課題(地域課題)	事業内容	目標	総事業費(円)	申請額(円)	交付決定額(円)
スタート事業											
1	さくら部会	代表 中川 俊和	平の沢さくら まもる会	馬路町内全住民	令和3年4月2日～ 令和4年3月31日	3年前から地元池尻区有志で立ち上げた夜桜ライトアップの取り組みにより、地域住民及び広く亀岡市民にも認知されるようになり、遊歩者や写真家等訪れる人が急増してきた。そうした中、今後益々亀岡市民に認知して頂き、継続して楽しんで頂ける桜の維持管理に努めたく思っている。従って、老木になってきている桜の剪定や新しい苗木の植樹等、長く咲いてくれるよう適切な樹木管理及び来訪者をおもてなしをする各種取り組みへの必要性が出てきた。	・老木(約90年過ぎ?)になっている桜の剪定を行い、枯れてくる樹木のメンテを行う。 ・老木になっている桜の後継植樹をおこない、生育管理を行う。 ・平の沢全体の桜を楽しめるように山にある桜の下刈りを行う。(下刈り、フジ等のツルの除去) ・定期的な茶話会を開催して桜の四季を楽しめる語り合う場をつくり、散策する。 ・市内のイベントにも参加して維持活動のあり方を探る	①アウトプット 茶話会の開催計画、地域内散策 地域内の情報発信 平の沢公園の見所などを地域の媒体(チラシ等)に掲載 草刈作業の実施 夜桜ライトの開催  ②アウトカム 季節の見所と茶話会の案内を自治会の回覧板で案内して参加者を募る。 茶話会開催4回(参加人数合計30名) 地域内散策4回(参加人数合計25名) 地域内への情報提供 町内ボランティア登録者数3名増員 草刈作業 年5回実施 夜桜ライトの機材増設の確認と設置作業の体制づくり	325,751	200,000	120,000
2	楽しい東本梅の会	代表 日下部 健	東本梅の楽しい写真回覧板	東本梅町内全住民	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	東本梅町は高齢者が多く、家の中にこもり近所の人との会話が少ない。最近ではコロナの影響で高齢者サロン、ふれあい祭りなどが中止になり、高齢者の楽しみ事が少なくなっている。	町内で撮られた写真を毎月テーマによって選び、回覧板として町内全域に回覧する。	月1回の回覧板作成・回覧で、町内の人、特に高齢者を楽しんでもらいたい。 回覧板を町民共通の「話のタネ」として楽しい地域づくりに寄与したい。	120,700	120,000	96,000
3	くらしゴトLabo	代表 多胡 麻衣	コンポストで地域と資源の循環計画	モニタリング: 亀岡市民(主に家庭で調理を担当する人) 夏休み親子教室: 亀岡市在住小学生親子	令和3年6月1日～ 令和4年3月31日	私たちが出す「生ごみ」は年間推計で約2,842万トン、一般廃棄物の約40%を占め、そのうち30%が家庭からの排出と言われている。そのほとんどは焼却処分されるが、約80%が水分である生ごみは燃えにくく、焼却には生ごみ1トンあたり760リットルの重油が使用され、6000億円のコストがかけられており、エネルギー効率が悪く環境負荷が高い。ごみをゴミとして捨てるのではなく、循環して「資源」として活かすことで環境への負荷を減らすことになる。	・夏休み親子コンポスト教室 小学生にもわかりやすいコンポストの環境講座 ・親子で工作 コンポスト講座&キエーロWS ・コンポストについての環境講座 キエーロ(生ごみ処理機)を作るワークショップ ・モニタリング調査 制作したキエーロ・LFCコンポストを使って半年間モニタリング調査及び集計	夏休み親子コンポスト教室 参加者10組 コンポスト講座&キエーロWS 参加者10人 モニタリング調査 10家庭  コンポストについての理解と、その先の循環生活や環境問題、地域づくりに興味を持ってもらう。モニタリング調査により亀岡で暮らす人が使いやすいコンポストがどのようなものか情報収集する。	240,000	200,000	160,000
小計									686,451	520,000	376,000

令和3年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金決定事業概要一覧

NO	申請団体名	代表者名	申請事業名	実施対象	実施期間	設定課題(地域課題)	事業内容	目標	総事業費(円)	申請額(円)	交付決定額(円)
ステップアップ事業											
4	重利の山を守る会	会長 長瀬 清澄	学生との協働による癒しの森づくり	曾我部町重利山ノ下近辺の山林 曾我部町地域の住民(先端科学大学の学生を含む)	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	手つかずの人工林の整備を始めて7年が過ぎ倒木の危険のあるスギの伐採は進んできました。山は生きています。山の自然は人が手入れを怠ると、すぐ元の状態に戻り荒廃した山林に変化します。伐採跡地を自然に生えてくる木を生かし広葉樹の森に誘導し、人と自然が調和する「癒しの森」づくりを進める事が必要と考えています。	①学生との協働で地域の課題に取り組む ②山の環境整備のための作業を月に1回開催 ③「重利の山を守る会」の活動内容を多くの人に理解してもらうためイベントを開催 ④9月1日の「防災の日」に夜間防災訓練を開催	①アウトブット 山の整備 年10回、参加者毎回10名 チェーンソーアート観客30名、木工教室参加者親子30組、森のコンサート観客100名 会員・学生向けのチェーンソー講習講習会年3回、参加者毎回10名 ②アウトカム 曾我部町全域の住民の会員数を5名増やす。地域の山の防災についての実情をイベントを通じて理解してもらう工夫を構築する。	635,000	200,000	160,000
5	緑会 畑野	代表 池田 洋二	高齢者の『日常生活支援』と地域・暮らしの『困りごと』解決	亀岡市全域	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	空き地・空き家問題をはじめ、地域の中には、危険箇所が多くある。危険箇所の除去には、地域力を発掘し、自分たちで問題解決できる実力をつけることが必要である。危険箇所を認識・特定し、改善する体制を整備することが課題である。予想される災害に対応できるように、防災・減災を学習し、避難場所、避難マニュアル等の整備することが課題である。日常の助け合いや災害時の迅速な対応のためには、一定の繋がりが必要である。近所の『困りごと』を計画的に解決していくことや『わいわいがやがやの居場所』づくりをとおして、新たな絆づくりを行うことが課題である。	(1) 経験豊かで元気な高齢者を「地域経済・社会活動の主体」と捉え、さまざまな地域課題を解決する事業 (2) 地域の資源の価値化 (3) 地域力の発掘・育成 (4) 情報発信事業	(1) アウトブット 問題解決活動実施件数 目標月3件、年36件 事業参加者数 目標月5人、年間60人 (2) アウトカム 「困りごと解決」後に実施するアンケートによる満足度評価 目標90%以上 問題解決ワークシートの作成件数 20枚	1,500,000	200,000	60,000
6	広野2区環境保全会	総括 藤原 幸一	環境保全会活動と地域力向上への取り組み	畑野町全住民と別荘・土地所有者	令和3年4月28日～ 令和4年3月31日	多様な世代の住民や新しく暮らし始めた住民が混在している地域であるが、住民が互いの存在を知らない、地域行事への参加者が固定化しているなど、住民間の繋がりが希薄化している。畑野町の分譲地は40年近く土地のみという状況が多く、その土地が山林化してきている。日常の助け合いや災害時の迅速な対応のため、住民の繋がりと暮らしやすさが必要がある。我々の地域の環境保全会を通じて住民の協力を仰ぎ、環境整備を進めて過ごしやすい地域づくりをする。	地域内の空地樹木の伐採を進め、地主等と住民が気軽に語り合う場を作る。住民同士が地域の復活・発展について語りあい地域の向上に努める。環境保全要員に多様な世代や普段外出が少ない人にも巧会員として、参加してもらえるように呼び掛ける。畑野町HPに環境保全会ページを掲載して活動内容を広く発信する。伐採材の再利用(薪割り材、シタケ材、キャンピンググッズ)を提案して、地域の皆様向けに販売実績を作る。	環境保全会員参加者 20名増 巧環境保全要員参加人数 合計15名 畑野町全地域内への情報発信 月1回 危険箇所の整備 5件 私有地道路の確保 20件 空地利用の件数 5件 敷地内伐採依頼件数 10軒	1,700,000	200,000	82,000
7	Angel Smile 21	代表 服部 貴博	障がい児・者の育成に伴う健康者とのふれあいと交流の場づくり	亀岡市内全域	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	障がい児・者が地域社会に向けて自立できる様に様々なイベントや勉強会等を通して健康者とふれあいができる交流の場づくりが必要である。	体験交流イベント 農業体験交流、ピクニックなど 普及資料作成 生活ハンドブック作成 教育学習 勉強会、意見交流会	① アウトブット ・体験交流イベント 1回25人×6回 ・管内全産婦人科へのPR活動 15ヶ所 ・賛助会員への加入促進活動 5企業 ② アウトカム ・本会への新規入会者の拡大推進	260,000	195,000	156,000
8	つつじヶ丘を美しくする会	代表 広田 勇	年谷川の自然環境保護と住民交流活動事業	西つつじヶ丘・南つつじヶ丘・上矢田町・中矢田町・古世町等	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	介護、孤立、医療、防犯、交流等に課題が多い高齢者・子育て世帯の悩み等地域の課題は顕著である。顔の見える多世代間交流により地域の発展に寄与する。	年谷川遊歩道の清掃活動と花、野菜等の作付け収穫、交流会 年谷川の蛍観賞会、蛍と自然環境保護の学習会 年谷川のヨシ狩りとヨシが自然環境に及ぼす影響についての学習会 年谷川自然環境保護交流イベント(よし灯り展等)	① アウトブット ・蛍観賞会 150名 ・自然環境学習会 30名×2回 ・よし灯りの制作 40名×4回 ・よし灯り展 200名 ・ヨシ狩り 30名 ・年谷川遊歩道清掃活動 20名×10回 ② アウトカム ・ボランティア活動者数 10名増員 ・蛍の会立ち上げ 1団体 ・会の認知度 西つつじヶ丘全世帯の30%(約1,700世帯)	200,000	150,000	120,000
小計									4,295,000	945,000	578,000

令和3年度亀岡市支えあいまちづくり協働支援金決定事業概要一覧

NO	申請団体名	代表者名	申請事業名	実施対象	実施期間	設定課題(地域課題)	事業内容	目標	総事業費 (円)	申請額 (円)	交付決定額 (円)
市民連携事業											
9	特定非営利活動 法人プロジェクト保津川 (連携先: 亀岡市 環境先進都市推進 部 環境政策課)	代表理事 原田 禎夫	かめおかプラス チックごみ ゼロ宣言～み んなで考える 亀岡の未来	亀岡市民(特に 小中学生とその 保護者)	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	使い捨てプラスチックごみ削減の取組は 進められているが依然としてレジ袋以外 のペットボトルなどのプラスチックごみ の発生抑制の取組は課題である。	映画「マイクロプラスチック・ストーリー ～ぼくらが作る2050年～」の日本語吹き替 え版の制作 上映イベント及びトークイベントの開催	①アウトプット ・オーディション応募50名 ・イベント参加者100名 ②アウトカム ・かめおかプラスチックごみゼロ宣言の趣 旨が広く市民に浸透する ・住民による市内清掃活動が活性化する ・保津川に流入するプラスチックごみが減 少する。 ・2030年までに使い捨てプラスチックごみ ゼロを実現する ・家庭レベルでのごみの分別や削減の取り 組みが一層進み、亀岡版ゼロエミッション 計画の達成に貢献する	1,111,000	400,000	160,000
小計									1,111,000	400,000	160,000
合計									6,092,451	1,865,000	1,114,000

私たちがかめおか、未来のまち語りフォーラム～どしどし わいわい 市民・若者大交流

開催概要

日時：令和3年11月27日（土）10時～正午

場所：市民ホール

参加人数：26名

内容：参加者同士の交流のための自己紹介

市内の活動団体6団体の活動発表と興味のある活動に分かれての交流。

参加者の、活動での困りごとの発表と発表者ごとに分かれての解決策のディスカッション。

プログラム1 あいさつから始めよう！…4人ずつのグループで自己紹介タイム。「名前・所属・住所」「熱中していること・忙しくしていること」をテーマに一人1分ずつ自己紹、続いて「亀岡の魅力」「今の気持ち」をテーマに一人1分ずつ自己紹介を行いました。

プログラム2 市民・若者「今ほっと！な活動発表」

……一団体3分で団体の設立の経過や活動内容をご紹介いただきました。

<発表者>

●かめおかオーガニックアクション、片本さん

→「亀岡をオーガニックのまちにする」を目指したコメ作り体験などの活動の紹介。

●亀岡おたがいさまプロジェクト、市岡さん

→「困ったときはおたがいさま」で、お互いに困りごとを助け合う住民相互扶助のシステムを構築。高齢者の見守りやお買い物代行、草刈り要員としての羊の牧場運営を紹介。

●河原林町自治会、小川さん

→自治会の様々な活動や、住民の発案で始まった未就園児を対象とした子育て広場の活動の紹介。

●暮らしゴトLabo、多胡さん

→昔の循環する暮らしをヒントに、野菜の育成や手仕事のワークショップの開催といった、食と農をとおした「暮らしの根っこを大事にする活動」の紹介。

●子育てサークルリラハピ、石村さん

→子育てに悩む親がちょっと話をしてリラックスしたり、親子で楽しい活動をしてハッピーになれるよう、おしゃべり会や体験教室を実施。

●重利の山を守る会、学生ボランティア宇川さん

→住宅に近い危険な山を整備してイベントを開催している団体で1年半ボランティアをしている大学生。普段できない貴重な体験ができる魅力を紹介。



発表を聞いて、「この活動面白そう」「自分たちの活動の参考になる」「サポートできそう」など、関心を持った団体のところへ分かれて12分間の交流。メンバーチェンジをしてさらに12分。

### プログラム3 市民・若者「今ほっと！な困りごと応援大交流会」

参加者のなかから「こんなことで悩んでるので、相談に乗ってほしい！」というテーマをその場で募集。市民力推進課から活動団体アンケート結果やこれまでに受けた相談からもテーマを出して、6つの困りごとが挙がりました。「その困りごとにはこんな解決策があるよ」や「同じことで悩んでるから一緒に考えたい」というところへ分かれて解決策を話し合いました。会の終了後の新たなコラボが生まれたり、学生ならではの意見に驚かされたり、有意義な時間になりました。

<困りごと>

- 一緒に活動してくれるメンバー募集！（Team D0 IT !!!、岡本さん）
- 活動に賛同して一緒に取組んでくださるお店や企業、団体を探してます！（制服リユース Shop さくらや、岸本さん）
- アイデアを出したり、事務仕事をしてくれる運営メンバーの募集！（亀岡 NAWASHIRO 基金、田中さん）
- 活動資金の確保の方法（補助金には頼りたくないなあ・・・）※市民力
- 活動の広報はどうしたらいいんだろう…？※市民力
- 他団体さんの活動はどうやったら知れるの？※市民力

### プログラム4 気づきの共有

座っているテーブルごとに1人1分で今日の気づきの共有。

最後に参加した大学生5人に感想の発表をお願いしました。

- 悩みを共有することで解決策が導き出されていて、今後自分もこういう場で悩み事や相談ごとを解決して成長していきたい。
- 大学で市民活動等を学んでいるが、住んでいる亀岡にどんな活動があるのか知らなかったのが勉強になりました。
- 人手不足が深刻化しているということが分かったので、京都市にいる学生のパワーを地域につなげる役割ができたらいいなと思った。
- 地元が好きで活動されている方がいる事に感動した。自分も地元で機会があれば活動に参加したい。
- 活動団体の困りごとに学生が何ができるのか考えるきっかけになった。亀岡市外の人がこちらの活動に参加できるような架け橋を作る活動ができればいいなと思う。

私たちのかめおか、  
未来のまち語りフォーラム

～どしどし わいわい 市民・若者大交流会～

【場所はありますが、私生活もしてないから！という方も大歓迎！】

身近な困りごとを解決したり、ちょっとだけ まちをよくするために活動している人たちを知っていますか？  
みんなで、わいわいがやがや交流をして一緒に亀岡の未来を考えませんか？

プログラム

1. あいさつから始めよう！  
～つながる4マス自己紹介～
2. 市民・若者「今ほっと！な活動発表」  
～亀岡にこんな活動があったんだ！～
3. 市民・若者「今ほっと！な困りごと 応援大交流会」  
～だれかの困り事をみんなで考えよう～
4. 気づきの共有

令和3年11月27日(土)  
10:00～12:00  
亀岡市役所1階 市民ホール

フシリアーティスト  
橋山山公立大学  
教授 谷口翔弘さん

事前に申し込みください  
申し込みはこちら  
（亀岡市ホームページ）

お問い合わせ 亀岡市役所 市民力推進課0771-25-5002



参加者募集チラシ



会場の様子



団体からの活動紹介



グループに分かれて交流



困りごとの発表

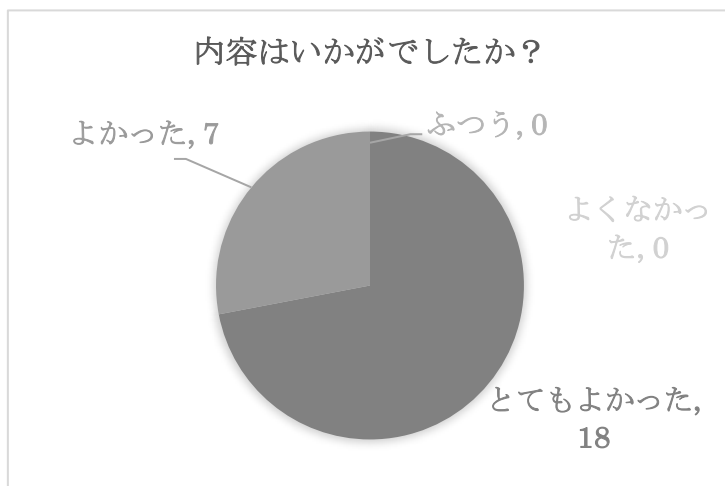


グループに分かれて交流

私たちがのこめおか、未来のまち語りフォーラム～どしどし わいわい 市民・若者大交流会～  
(参加者内訳)

学生	5人
活動団体から	12人
その他	3人
まちづくり委員、職員など	6人
合計	26人

【アンケート結果アンケート結果】



【回答の理由】

～とてもよかった～

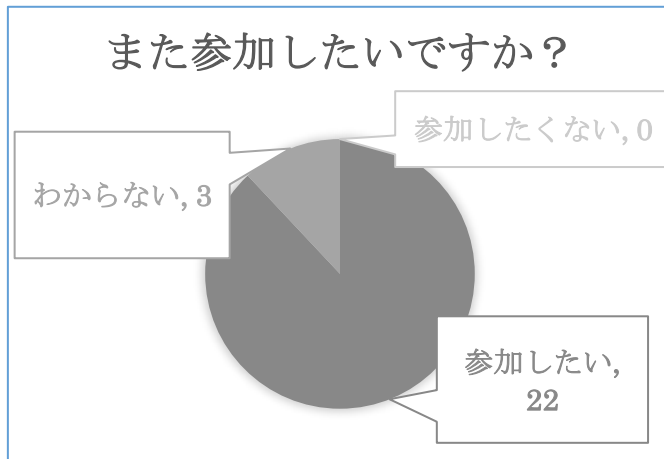
- ファシリテーターの要領がよく、短い時間で多くの人と深く語り合えました。
- 参加者同士交流出来とてもよかったです。進行のすすめ方もよかったです。
- 様々な活動をされている方がたくさんいると知れて良かった。
- いろいろな方と交流でき、活動のヒントもいただくことができました。
- 自分の住んでいる亀岡で様々な活動をされている人がいることを知って勉強になった。
- 学生・若い方の参加がされていてよかった。ぼろっと相談したことが簡単に解決されている様子がいくつか見られ良い交流会だったと思う。
- 若い人の市民活動がこんなに多くあり、若い人の考えに接することでよかった。その活動の情報が得られたことが良かった。新たな出会いとなり大変参考となりました。

～よかった～

- ちょっとした困りごとを共有すると解決の糸口が見つかることもよくあるなど改めて感じました。
- 外の活動との交流が進んだこと。若い方との交流やアイデアを聞いて良かった。
- 亀岡市の地域課題にはどんなものがあるかを知りたくて参加させていただきました。短い時間での交流でしたので、もう少し深くお話ができれば・・・と思いました。
- 面白かった。進行が良かった。
- 皆さんの取り組みを知ることができてとても感動しました。これから知ってもらうために「学生はなにができるのか」を考えたいです。



【Qまた市民活動団体の交流会があった場合、参加したいですか？その理由は？】



【回答の理由】

～わからない～

○日程等が合えば○一度ではわからなかったから○内容に特化したグループが良い

～参加したい～

- 自分の幅を広げたいから。
- ただ聞くだけではない交流ができる。地域の活動を知ることができて良かったです。
- 学びが多かったから。
- 皆さんの取り組みの進み具合を知りたいです！
- 本日のお話を通して、さらにどのような活動があるのか知りたいです。
- 地域との連携をしたいため

【Q市主催の協働に関するフォーラムやワークショップでこのような内容のものがあればいいな、というご希望があればお書きください。】

- ちょっとした困りごとの共有の場
- 終わったあとの交流の時間が必要
- とてもよい司会進行で楽しかった。

【Q他にご意見ご感想があれば】

- 若い人達の意見が聞けた事が良かった。また、大学生の交流も機会を考えていきたい。
- このフォーラムに一般の方も参加、見に来て頂けたらもっと広がる気がします。
- ぜひ次回も！！

回答者全員が良かったと回答した。特にファシリテーターの雰囲気づくりにより、和やかで話がしやすい場となったことで、リラックスして交流ができたことが満足度の高いイベントとなった要因だと考えられる。

また市民活動を行っている、興味のある学生の参加もあり、世代を超えた意見交換ができ、お互いに新鮮な意見が聞ける貴重な場になったとの声もあった。

イベントの参加者にはもともとお互いを知っている人同士もいたが、初対面の団体同士フォーラムを通して交流し、その後それぞれの活動の場でも交流が継続するような繋がりも生まれ、フォーラムの開催によって、市内の活動の発展に一定の効果があった。

# アンケートご協力をお願い

亀岡市内の事業所の皆様へ。  
「市民活動」への参画の現状や意識についての調査にご協力をお願いいたします。

亀岡市では、「豊かで魅力があり、誰もが愛着心を持てるまちづくり」のために、市民協働を推進しています。市内で地域の課題解決やよりよいまちづくりのために、様々な立場の人が協力して行動する市民活動の支援を行っていますが、今後さらなる活動の充実のため事業者の方々とも連携を図っていきたいと考えています。

今回、市内の事業者の皆様を対象に、亀岡市内での「市民活動」への参画の現状や意識についての調査を実施します。今後の市民活動支援事業を検討する上での参考といたしますので、お忙しいところ恐れ入りますがご協力をお願いいたします。

## 【回答方法】

### 方法1 WEB 上での回答

(URL)<https://logoform.jp/form/JbYC/57010> を入力  
または QR コードよりアクセス

※亀岡市ホームページに URL を掲載しています。

### 方法2 エクセルで回答しメールで提出

亀岡市ホームページで『事業所市民活動アンケート』と検索し、  
ファイルをダウンロードするか市民力推進課からメールで  
送られた調査票に回答し市民力推進課までメールで提出

**Mail** [syougai-gakusyu@city.kameoka.lg.jp](mailto:syougai-gakusyu@city.kameoka.lg.jp)

(ご連絡いただければ指定のメールアドレスに回答用ファイルを送付いたします。)

### 方法3 調査票に記入し郵送、FAX または持参で提出

同封の調査票に記入し返信用封筒で郵送、FAX または持参でご提出  
ください。

WEB フォーム



ホームページ



亀岡市ホームページで  
『事業所市民活動アンケート』  
と検索！

### ★実施期間★

～令和 4 年 2 月 18 日(金)  
※郵送の場合は消印有効

### ★回答時間★

15 分程度を想定しています。

### ●注意事項等●

\*回答内容は統計的に処理し、個々の回答内容についてそのまま公表することはありません。

\*アンケート調査でお答えいただいた情報は上記の目的以外に使用しません。

### 【回答送付先・問合せ先】

亀岡市役所 生涯学習部 市民力推進課 (担当:樋口、西村)

TEL: 0771-25-5002 (平日 8:45~17:15)

FAX: 0771-25-5157

Eメール: [syougai-gakusyu@city.kameoka.lg.jp](mailto:syougai-gakusyu@city.kameoka.lg.jp)

# 亀岡市内事業所の市民活動への参画状況に関するアンケート

## 調査協力をお願い

亀岡市では、「豊かで魅力があり、誰もが愛着心を持てるまちづくり」のために、市民協働を推進しています。市内で地域の課題解決やよりよいまちづくりのために、様々な立場の人が協力して行動する市民活動の支援を行っていますが、今後さらなる活動の充実のため事業者の方々とも連携を図っていきたいと考えています。今回、市内の事業者の皆様を対象に、亀岡市内での「市民活動」への参画の現状や意識についての調査を実施します。今後の市民活動支援事業を検討する上での参考といたしますので、お忙しいところ恐れ入りますがご協力をお願いいたします。

令和4年1月

亀岡市 生涯学習部 市民力推進課

## ご回答にあたってのお願い

### ●注意事項等

- \* 令和3年12月末日時点の貴社の状況についてお答えください。  
(支社/店でお答えいただく場合は支社/店での状況をご回答ください。)
- \* 個人経営の方については「個人として」ではなく「事業主として」の市民活動への参画状況についてお答えください。
- \* 各質問について、当てはまる項目に✓または自由記述については回答欄に記入してください。
- \* エクセルでご回答いただく場合には列の挿入等、当様式のレイアウトに関する変更はしないでください。
- \* 自由記述の質問については、当用紙内に記入いただくか、スペースが足りなければ別紙に記入してください。
- \* 回答内容は統計的に処理し、個々の回答内容についてそのまま公表することはありません。
- \* アンケート調査でお答えいただいた情報は上記の目的以外に使用しません。

## 基本情報

Q1. 事業所名	
Q2. 住所	
Q3. 業種	下記の選択肢からお選びください
Q4. 従業員数(パート・アルバイトを含む※令和3年12月末日時点)	
Q5. 事業所の形態	(下記の選択肢からお選びください)
Q6. 資本金額(法人のみ)	
Q7. 回答者氏名	
連絡先(メールアドレス)	
連絡先(電話番号)	

業種(選択肢)	
1 農業	10 卸売・小売業
2 林業	11 金融・保険業
3 漁業	12 不動産業
4 鉱業	13 飲食店、宿泊業
5 建設業	14 医療、福祉
6 製造業	15 教育、学習支援業
7 電気・ガス・熱供給・水道業	16 複合サービス事業(郵便局、協同組合など)
8 情報通信業	17 サービス業(他に分類されないもの)
9 運輸業	18 その他(分類不能の産業等)

事業所形態(選択肢)
1 単独事業所
2 支社・支店・営業所等
3 本社・本店
4 個人経営(法人でない)

## 市民活動への関わりの有無

Q8

これまでに市民活動に関わったことがありますか？

<input type="checkbox"/>	1	現在関わっている⇒Q9へ
<input type="checkbox"/>	2	過去に関わったことがあるが現在は関わっていない⇒Q9へ
<input type="checkbox"/>	3	関わったことはない⇒Q19へ

## 市民活動への関わりの内容

Q9

関わっている（いた）方法について該当するものすべてに✓をつけてください。

<input type="checkbox"/>	1	寄附金の提供
<input type="checkbox"/>	2	助成金・協賛金での援助
<input type="checkbox"/>	3	企業として活動団体などの会員に入会
<input type="checkbox"/>	4	ボランティア参加
<input type="checkbox"/>	5	物品提供
<input type="checkbox"/>	6	場所の貸し出し
<input type="checkbox"/>	7	技術ノウハウの提供
<input type="checkbox"/>	8	体験機会の提供
<input type="checkbox"/>	9	その他（下の欄にご記入ください）

その他：

--

Q10

関わっている（いた）相手について該当するものすべてに✓をつけてください。

<input type="checkbox"/>	1	行政
<input type="checkbox"/>	2	他の企業
<input type="checkbox"/>	3	社会福祉法人
<input type="checkbox"/>	4	財団法人・社団法人
<input type="checkbox"/>	5	NPO
<input type="checkbox"/>	6	ボランティア団体等
<input type="checkbox"/>	7	地縁組織（自治会等）
<input type="checkbox"/>	8	社会福祉協議会
<input type="checkbox"/>	9	教育機関
<input type="checkbox"/>	10	商工会議所等の経済団体
<input type="checkbox"/>	11	地域住民
<input type="checkbox"/>	12	その他（ <span style="float: right;">）</span>

Q11

関わっている（いた）活動分野について該当するものすべてに✓をつけてください。

保健、医療又は福祉の増進	社会教育の推進	まちづくりの推進	観光の振興
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農山漁村又は中山間地域の振興	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	環境の保全	災害救援活動
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域安全活動	人権の擁護又は平和の推進	国際協力	多文化共生 (外国人支援)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子どもの健全育成	情報化社会の発展	科学技術の振興	経済活動の活性化
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
職業能力開発又は雇用機会拡充の支援	消費者の保護	男女共同参画社会の形成の促進	上記の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他			
<input type="checkbox"/> （具体的に： _____）			

Q12

関わっている（いた）具体的な内容についてご記入ください。

例) ○○で開催されている子ども食堂に食材の提供をした。/○○町自治会の清掃活動の日に従業員が参加した。/○○へ寄附 など

Q13

関わっている（いた）きっかけについて該当するもの1つに✓をつけてください。

<input type="checkbox"/>	1	活動団体と個人的なつながりがあった
<input type="checkbox"/>	2	団体からの打診があった
<input type="checkbox"/>	3	団体へ直接話を持ち掛けた
<input type="checkbox"/>	4	他団体から仲介があった
<input type="checkbox"/>	5	行政からの働きかけがあった
<input type="checkbox"/>	6	経済団体等から働きかけがあった
<input type="checkbox"/>	7	その他（ _____ ）

Q14

関わっている（いた）目的について該当するもの1つに✓をつけてください。

<input type="checkbox"/>	1	企業の社会的責任を果たすため
<input type="checkbox"/>	2	企業イメージの向上
<input type="checkbox"/>	3	自社の事業に良い影響があるため
<input type="checkbox"/>	4	地域での事業活動をスムーズに進められるようにするため
<input type="checkbox"/>	5	従業員の研修育成のため
<input type="checkbox"/>	6	市民活動への理解を深めるため
<input type="checkbox"/>	7	その他（ _____ ）

**Q15** 実際に関わってみて、メリットはありましたか？該当するものすべてに✓をつけてください。

<input type="checkbox"/>	1	従業員の社会貢献への意識が向上した
<input type="checkbox"/>	2	顧客の信頼・満足度が上昇した
<input type="checkbox"/>	3	地域との信頼関係が築けた
<input type="checkbox"/>	4	売上が増えた
<input type="checkbox"/>	5	その他 ( )
<input type="checkbox"/>	6	特になし

**Q16** 実際に関わってみて、課題に感じたことはありますか？該当するものすべてに✓をつけてください。

<input type="checkbox"/>	1	協働する相手の選定が難しい
<input type="checkbox"/>	2	活動内容のマンネリ化
<input type="checkbox"/>	3	どのような活動があるのかといった情報が不足している
<input type="checkbox"/>	4	人的資源が足りない
<input type="checkbox"/>	5	事業所内での意識が薄い
<input type="checkbox"/>	6	コストがかかり過ぎる
<input type="checkbox"/>	7	協働する相手との連絡・調整に時間がかかった
<input type="checkbox"/>	8	その他 ( )
<input type="checkbox"/>	9	課題に感じたことはない

**Q17** 市民活動に関わった感想をご記入ください。  
(Q8で2過去に関わったことがあるが現在は関わっていないと回答された方は、現在関わっていない理由もご記入ください。)

**Q18** 今後の市民活動への参画の方向性について、該当するもの一つに✓をしていただき、その理由もお答えください。

<input type="checkbox"/>	1	拡充予定
<input type="checkbox"/>	2	現状維持
<input type="checkbox"/>	3	縮小予定
<input type="checkbox"/>	4	未定

(上の答えを選択した理由)

⇒Q20へ

## 市民活動への関わっていない理由等

Q19

関わっていない理由について該当するものすべてに✓をつけてください。

<input type="checkbox"/>	1	きっかけや機会がない
<input type="checkbox"/>	2	情報が得られない
<input type="checkbox"/>	3	メリットを感じない
<input type="checkbox"/>	4	人的資源に余裕がない
<input type="checkbox"/>	5	財政的余裕がない
<input type="checkbox"/>	6	時間的余裕がない

Q20

今後、市民活動に関わりたいとお考えですか？

<input type="checkbox"/>	1	積極的に関わりたい
<input type="checkbox"/>	2	要請があれば関わりたい
<input type="checkbox"/>	3	興味や関係のある内容なら関わりたい
<input type="checkbox"/>	4	関わりたいとは思わない

Q21

今後市民活動に関わる場合、協働する相手方にはなにを求めますか？最も重要だと思うもの一つに✓してください。

<input type="checkbox"/>	1	活動理念や方針を明確にする
<input type="checkbox"/>	2	企業側のメリットの提示
<input type="checkbox"/>	3	これまでの活動実績・成果が豊富
<input type="checkbox"/>	4	運営組織が安定している
<input type="checkbox"/>	5	企画力
<input type="checkbox"/>	6	知名度
<input type="checkbox"/>	7	その他 ( )
<input type="checkbox"/>	8	特になし

Q22

今後市民活動に関わる場合、興味のある活動分野について該当するものすべてに✓をつけてください。

保健、医療又は福祉の増進	社会教育の推進	まちづくりの推進	観光の振興
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農山漁村又は中山間地域の振興	学術、文化、芸術又はスポーツの振興	環境の保全	災害救援活動
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域安全活動	人権の擁護又は平和の推進	国際協力	多文化共生 (外国人支援)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子どもの健全育成	情報化社会の発展	科学技術の振興	経済活動の活性化
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
職業能力開発又は雇用機会拡充の支援	消費者の保護	男女共同参画社会の形成の促進	上記の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他			
<input type="checkbox"/> (具体的に： )			

## その他

Q23

市民活動団体等との交流会やマッチングの機会があった場合利用したいですか？

- |                          |   |     |
|--------------------------|---|-----|
| <input type="checkbox"/> | 1 | はい  |
| <input type="checkbox"/> | 2 | いいえ |

Q24

かめおか市民活動推進センターを知っていますか？

- |                          |   |               |
|--------------------------|---|---------------|
| <input type="checkbox"/> | 1 | 名前も活動内容も知っている |
| <input type="checkbox"/> | 2 | 名前だけ知っている     |
| <input type="checkbox"/> | 3 | 知らない          |

Q25

活動団体や行政、中間支援団体に協働に関して求めることがあればご自由にご記入ください。

※中間支援団体とは、行政と住民の中間的立ち位置で市民活動に関する相談などの支援を行う団体。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。